

## 目次

## 第1篇 運賃計算の基礎知識

## No.1. 航空運賃の基礎知識 I

1. 出題例 (R3)
2. 用語解説
  - a. 都市 / 航空会社コード
  - b. 月 / 曜日の表記
  - c. 発着時刻
  - d. 搭乗クラス
  - e. 運賃の種別
  - f. 旅行形態
  - g. NUC と円価額

## No.2. 航空運賃の基礎知識 II

1. 出題例 (R 2)
2. 用語解説
  - a. TPM と MPM (マイルージ計算)
  - b. マイルージ計算の例外
  - c. HIPチェック

## 第2篇 具体的な計算手順

## No.3. 往復 / 周回旅行の運賃計算

1. 往復 / 周回旅行とは
2. 適用する運賃と計算の手順
3. 具体例 ◆設例1 ◆設例 2

## No.4. オープンジョーの運賃計算

1. オープンジョーとは
2. 適用する運賃と計算の手順
3. 具体例 ◆設例1 ◆設例 2
4. みなし計算

本資料に掲載

## 第3篇 各種規則の内容

## No.5. 規則表の読み取り I

## No.6. 規則表の読み取り II

## No.7. 規則表の読み取り III

## No.8. Fare Culculation の読み取り

# No.4 オープンジョーの運賃計算

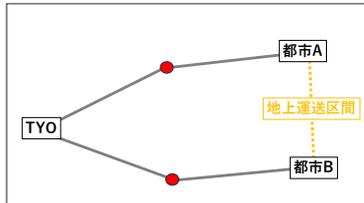
## 1. オープンジョーとは

旅行開始国（試験では日本）を発着する行程で、往路と復路の2つの運賃計算区間に分かれ、

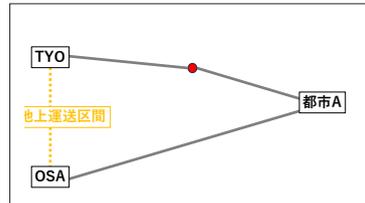
- ① 往路の到達地と復路の出発地
- ② 往路の出発地と復路の到達地 又は
- ③ 上記の両方

に地上運送区間（サーフィス）がある旅行。

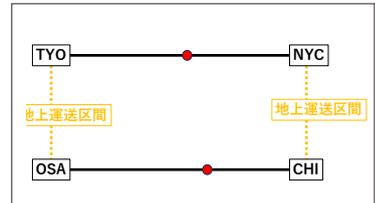
オープンジョー（Open Jaw）は、「開いたあご」の意味で、「くさび型旅行」ともいいます。



シングル・オープンジョー



シングル・オープンジョー



ダブル・オープンジョー

## 2. 適用する運賃と計算の手順

- ① 折り返し地点（1ヶ所又は2ヶ所）を設定し、行程を往路と復路に分けます。
- ② 往路・復路のそれぞれについて、1/2 往復運賃（HRT:Half Round Trip）を適用します。  
通常は折り返し地点の運賃を適用しますが、HIPチェックが必要であればこれを行います。
- ③ 往路分・復路分の運賃を合算します。 本試験では往路・復路に分けて出題されることがあります。

## 3. 具体例

### ◆ 設例 1

(旅程)			発	着
TOKYO(TYO)	- SAN FRANCISCO(SFO)	11APR(金) JJ 002	16:25	09:45
SAN FRANCISCO(SFO)	- LAS VEGAS (LAS)	14APR(月) AA836	13:30	15:07
LAS VEGAS (LAS)	- SEATTLE (SEA)		地上運送区間	
SEATTLE (SEA)	- LOS ANGELES (LAX)	18APR(金) AA139	12:00	14:42
LOS ANGELES (LAX)	- TOKYO(TYO)	21APR(月) JJ206	13:30	17:25 + 1

\* 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態: 往路の終点を LAS, 復路の始点を SEA とするシングルオープンジョー

\* 運賃計算規定: 距離計算、HIP チェックを適用する。

\* 各地点の MPM: TYO - SFO (6156 PA) TYO - LAS (6664 PA)

TYO - SEA (5730 PA) TYO - LAX (6549 PA)

\* 各区間の TPM: TYO - 5130 (PA) - SFO - 424 - LAS - 875 - SEA - 956 - LAX - 5458 (PA) - TYO

### \* 特定経路（スペシファイド ルーティング Specified Routing）

出発地点から目的地地点まで指定された経由地点を順に旅行する場合、距離計算及びHIPチェックをするこ

となく出発地点から目的地地点の直行運賃をそのまま適用できる規則

・ 太平洋線 Between Area 1 and Area 3 via pacific (抜粋)

Between	And	via
SEA	Japan	LAX or SFO

《参考》各区間の TPM の合計：

TYO-SFO-LAS	5554	SFO-LAS-SEA-LAX-TYO	7713
TYO-SFO-LAS-SEA	6429	LAS-SEA-LAX-TYO	7289
TYO-SFO-LAS-SEA-LAX	7385	SEA-LAX-TYO	6414
TYO-SFO-LAS-SEA-LAX-TYO	13143	LAX-TYO	5458

(適用運賃 - 往復)

\* 往路：往路の最初の国際線出発日を基準に、往路の旅程に適用する。

単位：円

出発地	TYO			
目的地	SFO サンフランシスコ		LAS ラスベガス	
適用期間	W/X の適用	W/X の適用	W/X の適用	W/X の適用
	W	X	W	X
20XX /04/01 ~ 20XX /04/15	133400	123400	136800	126800
20XX /04/16 ~ 20XX /04/29	138400	128400	141800	131800

\* 復路：復路の北米内の最終国際線区間出発日を基準に、復路の旅程に適用する。

単位：円

出発地	TYO			
目的地	SEA シアトル		LAX ロサンゼルス	
適用期間	W/X の適用	W/X の適用	W/X の適用	W/X の適用
	W	X	W	X
20XX /04/01 ~ 20XX /04/ 20	136800	126800	135600	125600
20XX /04/21 ~ 20XX /05/10	146800	136800	145600	135600

\* ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用

往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

復路：米国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
往路出発	土・日・月	火～金
復路出発	金・土	日～木

### (考え方)

① 往路 (TYO-SFO-LAS) の運賃を求めます。(規則より、距離計算と HIP チェックが必要)

- ・ (TPM の合計) 5554 < (MPM) 6664 より、割増はなし。
- ・ TYO を 4 月 11 日に出発しているので、適用期間は「4/01 ~ 4/15」に決定。
- ・ TYO を金曜日に出発しているので、「ウィークデイ (X)」に決定。
- ・ 上記 2 項目を用いて HIP チェックをすると、  
(SFO) 123400 < (LAS) 126800 であるので、HIP は存在しない。
- ・ よって、126800 × 1/2

② 復路 (SEA-LAX-TYO) の運賃を求めます。(規則では、距離計算と HIP チェックが必要とあります)

- ・ (TPM の合計) 6414 > (MPM) 5730 より、割増が必要ですが、  
この行程は、資料の **Specified Routing** に該当するため、TYO-SEA の直行運賃が適用になる。
- ・ LAX を 4 月 21 日に出発しているので、適用期間は「4/ 21 ~ 5/ 10」に決定。
- ・ LAX を月曜日に出発しているので、「ウィークデイ (X)」に決定。
- ・ よって、136800 × 1/2

## ◆ 設例2

(旅程)

発 着

SAPPORO(SPK) - TOKYO(TYO) 17SEP(金) JJ 002 15:30 17:10  
 TOKYO(TYO) - CHICAGO (CHI) 18SEP(土) JJ836 10:40 08:40  
 CHICAGO (CHI) - NEWYORK (NYC) 地上運送区間  
 NEWYORK (NYC) - TOKYO(TYO) 26SEP(日) JJ139 13:50 17:15+1

\* 運賃計算上の折り返し地点と旅行形態：往路の始点を SPK, 終点を CHI,  
 復路の始点を NYC、終点を TYO とするダブルオープンジョー

\* 運賃計算規定：距離計算、HIP チェックを適用する。

\* 各区間の TPM：SPK- 510 - TYO - 6283 (PA)- CHI - 725 - NYC - 6739(PA) - TYO

\* 各地点の MPM：SPK-CHI (8151 PA) TYO - CHI (7539 PA) TYO - NYC (8086 PA)

《参考》各区間の TPM の合計：

SPK-TYO-CHI	6793	TYO-CHI-NYC-TYO	13747
SPK-TYO-CHI-NYC	7518	CHI-NYC-TYO	7464
SPK-TYO-CHI-NYC-TYO	14257	NYC-TYO	6739

(適用運賃 - 往復)

\* 往路：往路の最初の国際線出発日を基準に、往路の旅程に適用する。単位：円

出発地	TYO			
目的地	CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
W/X の適用	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
適用期間				
20XX /09/01 ~ 20XX /09/30	289000	284000	297000	292000

\* 復路：復路の北米内の最終国際線区間出発日を基準に、復路の旅程に適用する。単位：円

出発地	TYO			
目的地	CHI シカゴ		NYC ニューヨーク	
W/X の適用	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
適用期間				
20XX /09/01 ~ 20XX /09/10	289000	284000	297000	292000
20XX /09/11 ~ 20XX /09/30	286000	281000	293000	288000

\* ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用

往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

復路：米国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
往路出発	土・日・月	火～金
復路出発	金・土	日～木

\* 日本国内アッドオン運賃 (抜粋)

日本国内の各出発地から米国内

加算地点	日本国内設定都市	アッドオン運賃 (往復)
東京	札幌、福岡、函館、他設定都市	10,000 円

(考え方)

- ① 往路 (SPK-TYO-CHI) の運賃を求めます。(規則より、距離計算と HIP チェックが必要)
  - ・ (TPM の合計) 6793 < (MPM) 8151 より、割増はなし。HIP も存在しない。
  - ・ SPK を 9 月 17 日に出発しているので、適用期間は「9/01 ~ 9/30」。他に選択の余地なし。
  - ・ TYO を土曜日に出発しているので、「ウィークエンド (W)」に決定。日本国内の最終地点は東京!
  - ・ SPK-TYO 間のアッド・オン運賃 (10,000 円) を加える
  - ・ よって、 $(289000+10000) \times 1/2$
- ② 復路 (NYC-TYO) の運賃を求めます。(規則では、距離計算と HIP チェックが必要とありますが…)
  - ・ 1 区間のみなので計算不要。HIP も存在しない。
  - ・ NYC を 9 月 26 日に出発しているので、適用期間は「9/ 11~9/ 30」に決定。
  - ・ NYC を日曜日に出発しているので、「ウィークデイ (X)」に決定。
  - ・ よって、 $288\ 000 \times 1/2$

4. みなし計算

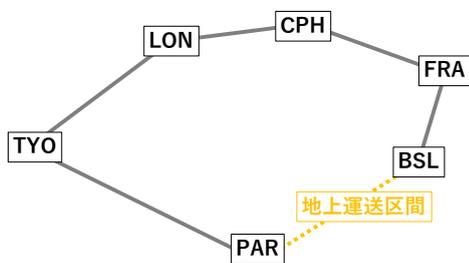
地上運送区間 (サーフィス区間) がある場合でも、常にオープンジョーに分類するわけではなく、**みなし計算**という方法でも計算できます。

みなし計算…… 地上運送区間を航空機を利用したとみなして、この区間を含めて距離を合計する。  
これにより連続した航空旅行となり、往復 / 周回旅行として運賃を算出する方法。

例

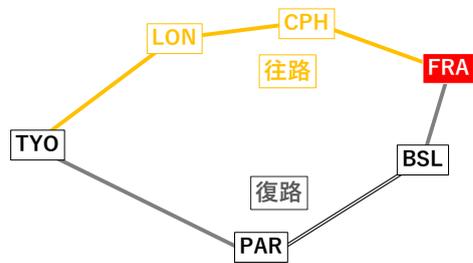
(旅程)		発	着
TOKYO(TYO)	- LONDON(LON)	15OCT(土) JJ 002	08:50 15:45
LONDON(LON)	- <small>コペンハーゲン</small> COPENHAGEN (CPH)	18OCT(火) BB 890	09:55 12:50
COPENHAGEN (CPH)	- FRANKHURT (FRA)	20OCT(木) DD 543	10:00 11:30
FRANKHURT (FRA)	- <small>バーゼル</small> BASEL (BSL)	22OCT(土) DD 777	12:50 13:35
BASEL (BSL)	- PARIS(PAR)	地上運送区間	
PARIS(PAR)	- TOKYO(TYO)	25OCT(火) JJ206	11:00 07:55 + 1

① オープンジョーとして計算



旅行形態：往路の始点を TYO、終点を BSL、復路の始点を PAR、終点を TYO とするオープンジョー

② みなし計算 (往復 / 周回旅行)



旅行形態：折り返し地点を FRA とする、往復 / 周回旅行

[Check Test No.1]

1. 資料を参照して、次の各問いに答えなさい。

- (1) この旅程の往路の運賃額は ( ) 円である。
- (2) この旅程の復路の運賃額は ( ) 円である。

《資料》

\* 旅程

			発	着
TOKYO(TYO)	- LONDON(LON)	15OCT(土) JJ 002	08:50	15:45
LONDON(LON)	- COPENHAGEN (CPH)	18OCT(火) BB 890	09:55	12:50
COPENHAGEN (CPH))	- FRANKHURT (FRA)	20OCT(木) DD 543	10:00	11:30
FRANKHURT (FRA)	- BASEL (BSL)	22OCT(土) DD 777	12:50	13:35
BASEL (BSL)	- PARIS(PAR)			地上運送区間
PARIS(PAR)	- TOKYO(TYO)	25OCT(火) JJ206	11:00	07:55 + 1

\* 運賃計算上の折り返し地点：FRA

\* 運賃計算規定：距離計算、HIP チェックを適用する。

\* TYO-FRA の MPM：7114 (TS)

\* 各区間の TPM：TYO - 6214 (TS) - LON - 589 - CPH - 422 - FRA - 176 - BSL - 244 - PAR - 6194(TS) - TYO

- ・ TPM の合計が MPM 以内の場合、運賃計算区間内の直行運賃を適用する。
- ・ TPM の合計が MPM を超える場合、超える割合に応じて直行運賃を割り増す。(マイルレージ サーチージ)

if result is:		but not higher than		Surcharge fare by:	
over	1.00	1.05	1.10	5%	
	1.05	1.10	1.15	10%	
	1.10	1.15	1.20	15%	
	1.15	1.20	1.25	20%	
	1.20	1.25		25%	
	1.25			lowest combination	

(適用運賃 - 往復)

\* 往路：往路の最初の国際線出発日を基準に、往路の旅程に適用する。

単位：円

出発地	TYO							
目的地	LON ロンドン		CPH コペンハーゲン		FRA フランクフルト		BSL バーゼル	
適用期間	W/X の適用		ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
20XX /10/01 ~ 20XX /10/31	228000	224000	228000	224000	228000	224000	240000	236000

\* 復路：復路のヨーロッパ内の最終国際線区間出発日を基準に、復路の旅程に適用する。

単位：円

出発地	TYO					
目的地	FRA フランクフルト		BSL バーゼル		PAR パリ	
適用期間	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
20XX /10/01 ~ 20XX /10/31	230000	226000	242000	238000	230000	226000

\* ウィークエンド (W)・ウィークデイ (X) 運賃の適用

往路：日本国内の最終地点を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

復路：ヨーロッパ内の最終国際線区間を出発する曜日を基準とし 1/2 往復運賃を適用する。

	ウィークエンド (W)	ウィークデイ (X)
往路出発	土・日	月～金
復路出発	金・土	日～木

《参考》 各区間の TPM の合計：

TYO-LON-CPH-FRA	7225	FRA-BSL-PAR-TYO	6614
TYO-LON-CPH-FRA-BSL	7464	BSL-FRA-BSL-PAR-TYO	6438

## Check Test 解答・解説

1.

(1) 119,700 円 :

(TYO-LON-CPH-FRA) の運賃を求めます。(規則より、距離計算と HIP チェックが必要)

- ・ (TPM の合計) 7225 > (MPM)7114 より、割増をする。
- ・  $7225 \div 7114 = 1.01\dots$  より 5% 増し。
- ・ TYO を 10 月 15 日に出発しているため、適用期間は「10/01 ~ 10/31」に決定。選択の余地なし。
- ・ TYO を土曜日に出発しているため、「ウィークエンド (W)」に決定。
- ・ 上記 2 項目を用いて HIP チェックをすると、LON,CPH,FRA の運賃は同額で HIP は存在しない。
- ・ よって、 $228000 \times 1/2 \times 1.05$  ← 本試験の選択肢はこの形式が大半です。

(2) 119,000 円 :

(FRA-BSL- PAR - TYO) の運賃を求めます。(規則より、距離計算と HIP チェックが必要)

- ・ (TPM の合計) 6614 \* < (MPM)7114 より、割増はなし。 \* BSL-PAR 間の距離を含みます。
- ・ PAR を 10 月 25 日に出発しているため、適用期間は「10/01 ~ 10/31」に決定。
- ・ PAR を火曜日に出発しているため、「ウィークデイ (X)」に決定。
- ・ 上記 2 項目を用いて HIP チェックをすると、(FRA・PAR) 226000 < (BSL) 238000 であるため、これが HIP。← ミスの無いように！
- ・ よって、 $238000 \times 1/2$

※ 運賃の部分は以上の通りです。 実質的には、往復 / 周回旅行の復習ですね。

本試験の選択肢には、これに途中降機料金・特定便 (日) 加算 < Qサーチャージ > の要否などが加わります。